

<p>岸本先生の、取り組みたいと思われる研究テーマを他の意見に迎合せず貫き通された姿に感動しました。</p>
<p>志を持ち続ける大切さと、感謝の気持ちを持って自分のできることに精一杯取り組む大切さを再認識しました。</p>
<p>まず教える者が自分なりの「人間学」を築き上げねばならないと思っています。自分のことを見つめることができる学生を一人でも多く育てるよう工夫して頑張ります。</p>
<p>先生の講演を伺い、現在行われている医療に感じていらっしゃる疑問に対して、本当の医療(=医学+人間学)に近づくために努力されている先生の姿に大変共感しました。</p>
<p>講演内容はもちろんですが、お話のテンポやスライドの作り方など、完成度の高さに感動いたしました。素晴らしいご講演であったと思います。本当にありがとうございました。</p>
<p>講演内容はもちろんですが、お話のテンポやスライドの作り方など、完成度の高さに感動いたしました。講演をお仕事にされている看護の研修とは比べられない素晴らしいご講演であったと思います。</p>
<p>患者目線に立ち、症状把握の後、治療方法を分かりやすく納得するまで時間をかけ説明し、患者さんの信頼を得て共に治療する事が重要であると思います。常に向上心を持つ態度に感銘いたしました。</p>
<p>「知行合一」について、改めて考えさせられました。知識があっても行動化できなければ知識を持っていないのと一緒にすることに納得しました。私たちが仕事に必要と考えて獲得する知識は、将来看護師として働く学生を支援するために活用できなければ意味をなさないかと再認識しました。</p>
<p>自分は最初のペンギンになったことがあったかと振り返りました。最初のペンギンになる人は、目的に対する相当の熱意がある人だと思います。看護教員であるならば、看護学生の将来の成長を考えて、時には最初のペンギンになって新たな取り組みにも挑戦していく熱意と勇気を持たなければいけないと思いました。</p>
<p>著名人の名言や成功までの道のりの紹介、皮膚疾患の事例など、私たちの理解を助けるための多くのスライドを準備していただき、また盛りだくさんの内容を時間ぴったりにお話され、講演にも真剣に取り組まれて下さったのだと感じることができました。私たちの授業づくりも真剣に行わなければいけないと肝に銘じる機会となりました。</p>
<p>先生の助けてあげたいという思いが患者さんに伝わり、患者さんも自分のできること精一杯頑張ると心に止め、実践することで、目標達成に至るのだと思いました。私たち学校に勤める者も、学生をどうにかしてあげたいという熱意と、それに対して学生自身がしっかり自分のやるべきことを認識できるように関わる責務があると痛感しました。</p>
<p>自分の信念を実現するためには、一つ一つの壁があつて滑って登れない時、転げる時、心の怪我などがあると思いますが、それでも積み重ねて進んで行くものと感じました。言葉では、語り尽くせぬ想いが伝わってきました。授業の中で自己体験を人に語る時、「心のほころび」を持っていることが財産だと思いました。大変、貴重な講話を頂き感謝申し上げます。</p>

テーマの「最初のペンギン」からどのような講演内容なのか想像がつかず、興味津々でした。先生の講演を聴講し、初めてその意味がわかり感動しました。私自身、今思えば最初のペンギンになりたいと常々思っておりましたが、結局は逃げてしまったり、要領よく済ませていて今日に至っていると反省します。ただ、先生の講演の中のフレーズより、まだこれからでも間に合うなと思いました。私自身、伸びしろがたくさんあり、少しでも多く埋めて行きたいと思いました。人間学、人生学と先生のお人柄が伝わる意義ある講演をありがとうございました。

大変感銘を受けました。先生が医療現場におかれ、日々多くの患者さんと接しておられる中、一人ひとりの患者さんの病気に向ける熱意が伝わってきました。一人ひとりの患者さんに目を向け関わるのがいかに大切かを再認識しました。また、一人の患者さんがどういう経過を経て診察に来られ、何が困っているのか、よく症状を観察し、さまざまな問題を抱えている患者さんに心を合わせ、看護することの大切さを再認識しました。先生が一生をかけて医療の「道」をきわめていく姿勢に感銘を受け、心引き締まる思いで講演を聞かせて頂きありがとうございました。

先生は、たくさんの本や、歴史上の人物や、現在活躍中の著名人など、多くの方の実績や言葉から、常に学ばれていらっしやることに感銘いたしました。スライドの量が多いにもかかわらず、早口でもなく端的で、なおかつ分かりやすく説明して下さいました。プレゼンテーション力はもちろんのことと思いますが、それだけではなく、やはりご自身が実践され実感された、それこそ「ほんまもん」のことだから、スッと聴いている者に伝わってくるのではないかと感じました。おひとりの多忙な外来勤務の中で、タイムリーなスライドと話題も組み込まれ、常に修正、追加をされながらご準備、ご尽力いただいたことに深く感謝いたします。